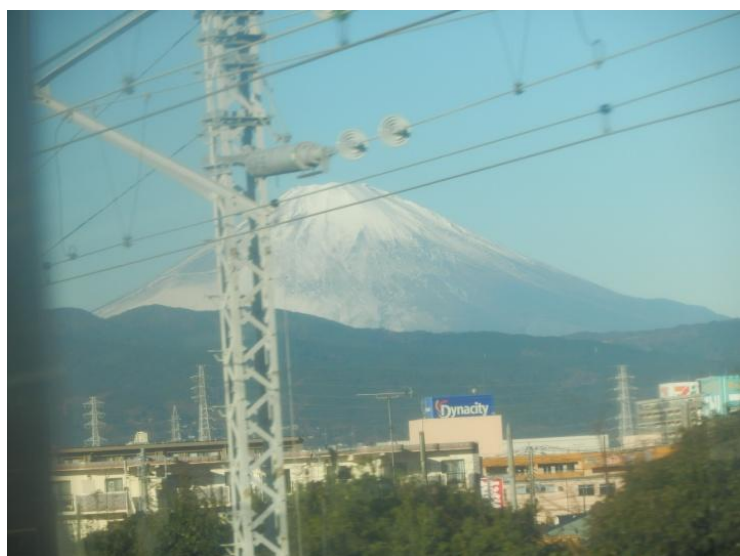


湯河原ハイキング

時 12月19日(土)9時集合 快晴 20km、29,000歩

コース 湯河原駅→五郎神社→幕山 (620m) →大石ヶ原→しとどの窟→
城山 (563m) →湯河原駅

参加者 吉野会長 (L) 五十嵐(志) (SL) 他28人



今日は快晴、東海道線電車の車窓からも「くっきり」
気持ちの良い朝、二の宮付近から見えました



湯河原駅で降りるとホームのベンチには座布団が！
駅のベンチに？ 「感激！！」



何もかもが朝日に輝いて！ あまりの気持ちのよさに、
しばらくはホームでボーと過ごしました。
「やはり東京とは空気が違うな！」



改札の外に出ると、皆さん大半が揃っていました。
今日は健脚コースですが30人の大所帯です。



12月にしては暖かいけど、やはり朝はピリッと寒さを感じながらの出発



朝日にあたりながらハンビリと始動
目指す幕山、城山の峰を眺めながら



五郎神社も入口付近は日当たりがよく、心がなごみます



五十嵐(志)SLの準備体操は身体の部分を意識して
筋肉、関節を伸ばします、キツーー？



向こうに見えるのが、後から登る城山、境内から幕山も見えています



何かと最近怪我を抱えている3人組み、まずは共同作戦の相談かな？



幕山の頂上？が見えてまっています、626m



「早や！」もう1袋100也のミカンを無人販売所でゲット
「ずいぶん入っていたよな・・・！」



家々の庭のミカンも朝日にかがやいて



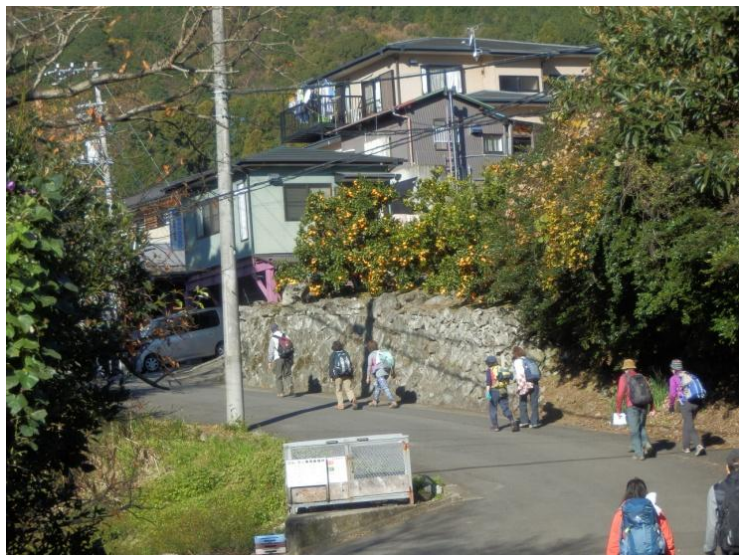
ちょっと左を見ると相模湾も朝日にかがやいて！
このあたりは「住み易いだらうなー、足腰丈夫なら？」



今までも、だらだら大分上ってきたけど、「あの辺から
急激な上りだなー！」



「あれが頂上?? あそこまでかー！！」



頂上を見ると心が萎えるから、見ないようにして？
すずなりのミカンでも眺めながらのぼります



それにしても、青い空に白い雲、冬枯(落葉)れの山、個性的な民家と庭のミカン、気持はずむような風景！



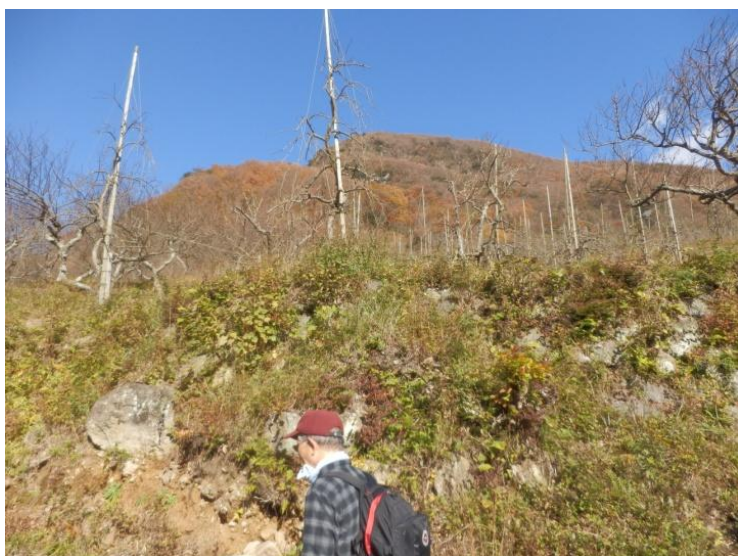
徐々に山が近づいてきます



身体も暖まって来ました
でも身体がこわばっている方が？ 何か心に秘めてる？



ようやく山際まで、緩やかな坂道を上ってきました



山の裾は梅林が続いている？



登り口には休憩所が、ここからが本格的な登りに？



「暑いなー！」ガイドの方が「今日は天気が良いので岩壁登りだけでも100人以上が入っていますヨ」



垂直に切り立った岩は、岸壁登りの練習には恰好な場所のようだ！



岸壁に関係ないKWCは、いざ出発



梅林の中を九十九折になつてのぼります



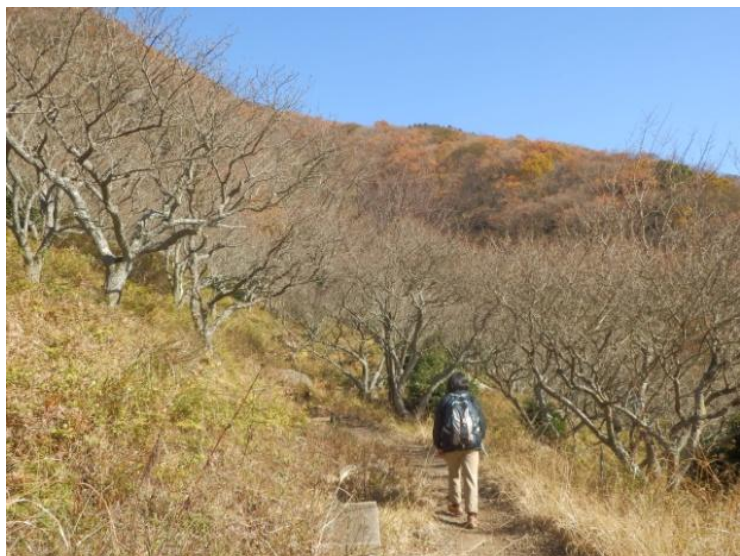
春に来たら良いだろうなー！



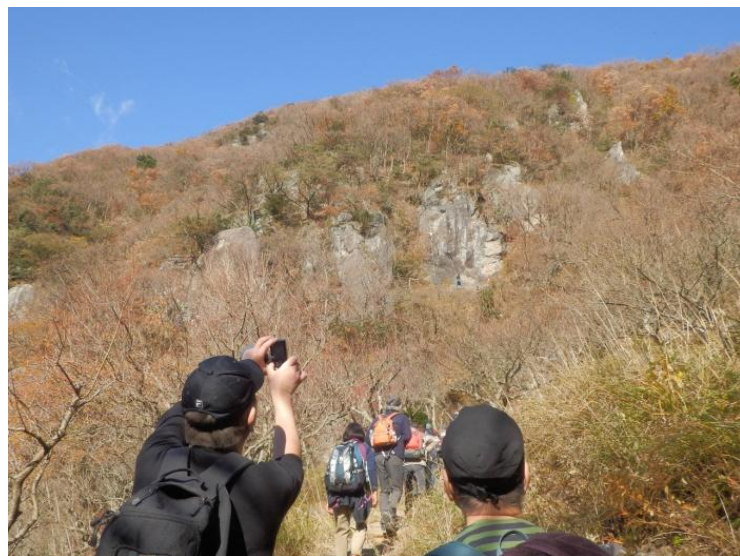
梅は白梅・紅梅が約4000本もあるらしい
梅が咲いていたら、この辺は梅のトンネル？



ここはハイキングコースなので整備はしっかりされて、
歩き易いみちです、上りが無ければ！



だんだんに隊列が長くなってきます



岸壁の下に近づくとも垂直な岩を登っている若者の姿が
「あっちでも！こっちでも！登ってる登ってる！！」



梅林が終わる頃には少々疲れが



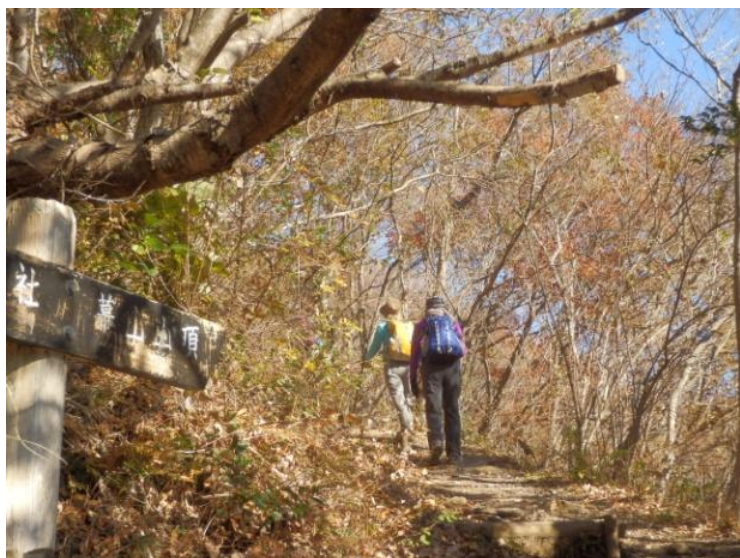
何やら上の方から、騒ぐ声が聞こえてくる！
休憩小屋が左上に見えてきました



「お里の大将」はマイペースで黙々と・・・！
「もう少しで休憩小屋！」と思ったら、休憩小屋はパス！



休憩なしで通過して行く一団に、休憩組みも慌てて
出発の用意



「幕山山頂」の案内版、「後どの位かな？」



でも、思わず見とれてしまう景色の素晴らしさ！



相模湾、湯河原・真鶴の街並、初島、伊豆大島の遠望
は見ていて飽きない！



山頂の姿も見えてきました！



もう一息です！向こうは真鶴半島



会長は皆を出迎えです！



「あぁー着いた！」頂上は芝生の広場みたい？



頂上では、他の方々も一緒に思い思いのところに座り陽を一杯に浴びながらの昼食！



この景色を眺めながら食べれば「なんでも旨い！」
何食べたか忘れたもん！！



何やら怪しいこの一団、黒めがねを中心に秘密めいた
情報交換？「オヤブン！………？」



「疲労の予防・回復」にはアミノバイタル、「脚のつり」には芍薬甘草湯が効くようですよ…？



休んでいると身体が冷えてくるので、予定より早めに下山開始



お昼を過ぎると気温も下がってくる感じ、何となく心細くなる！



周りの環境も樹林帯から、笹藪帯へと変化も激しく！



足元も石がゴロゴロして歩き難い道へ、疲れた脚には優しくない！



ようやく広い道まで下りて！



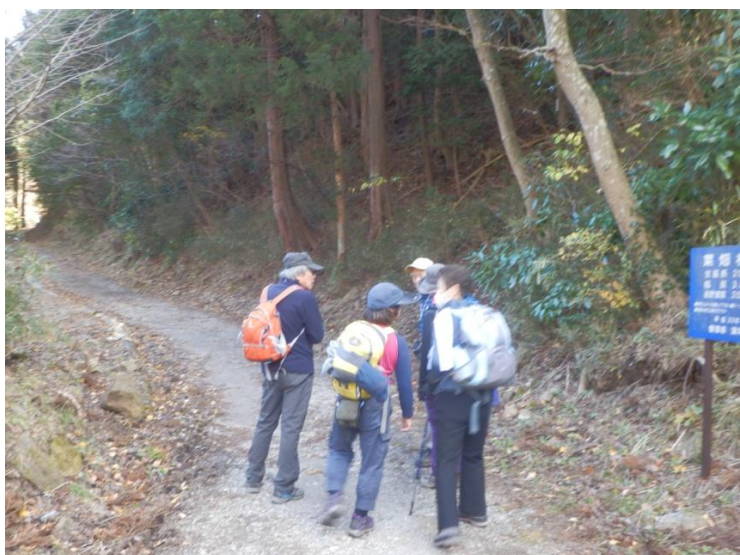
橋の上で休憩！ まだこの後、いとどの窟、城山に登ります、「あまり下りないで、早く上りにしたい！」



でも道はまだまだ下っています



「会長……」「こっちの道の方が近そうです、ここから上りになってます」



「この道で大丈夫か？」「大丈夫そうだな！」



皆も大分疲れ、体力温存に心がけています、少しでも経済効率の良い道を……！



でも簡単に楽をさせてもらえない！相当厳しい……幅狭い急な崖道、高所恐怖症の方には無理かも？



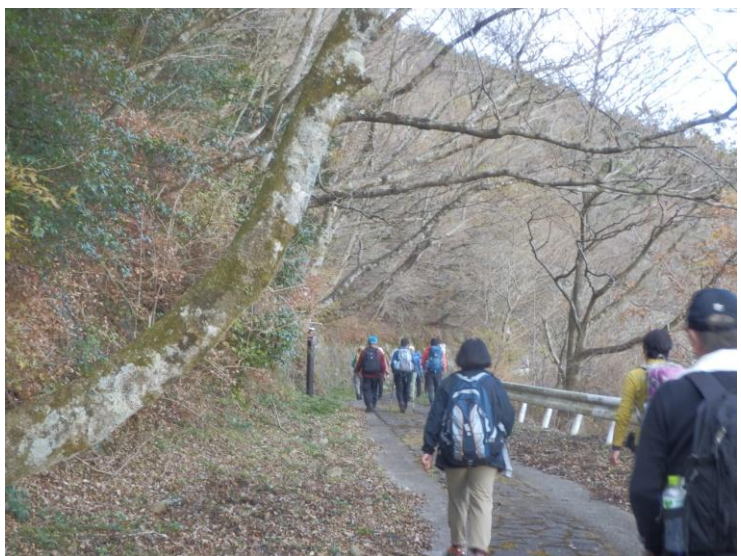
高所恐怖の道も何とか通過し、「しとどの窟」
頼朝が逃げこみ隠れた所とか？



厳しい山道は終わり？
とりあえず「これはバス道」の城山隧道



久しぶりのトイレ休憩！
向こうに見える数人もKWC？、「何してるの??」



3人をバス停に残して、「いざ城山へ！」
さっきからカメラの電池の警告ランプが点滅している



城山山頂に何とかたどり着いたー……



疲れが吹き飛ぶような見晴らし！
「お山の大将」も思わず岩に腰掛けて！



親子??かな?..... あれが伊豆大島、その先が利島、新島・・・
ここで警告が出ていたカメラの電池切れ、「不吉な予感??」